NCAトンガ事務所から ひとこと

音楽といえば教会の賛美歌と学校のブラスバンド、というトンガの若者たちに、音楽の豊かさと深さを伝え、情操教育を促進しているのが音楽隊員です。尾上さんの支援で実現したクラシックコンサートは、トンガの人たちに音楽の多様性を示し、大きな喜びと夢を与えました。尾上さんのもとで若手弦楽器奏者や指導者が育ち、トンガの音楽がさらなる進化を遂げるのが楽しみです。

企画調整員(ボランティア事業)* **羽野友和**(はの・ともかず)

*隊員の活動全般を支援する「ボランティア事業支援のプロ」。また相手国の要望を調査し要請開拓を行うなど、隊員活動全体の運営を行う。

+one information

ココナッツの可能性

トンガと聞いてなにを想像するだろうか。実は、地元の人たちにとってトンガといえばココナッツなのだ。見渡すかぎりココヤシが生えていて、国土面積の大半をココヤシの木が占めているといっても過言ではない。

そんなに身近なココナッツ、いちばん活用されているのは料理で、その代表ともいえるのがオタイカだ。トンガ語でオタは生、イカは魚で、その名の通り生魚料理。下ろした魚を大きめのサイコロ状に切り、塩とレモン汁でしめ、そこにトマト、玉ネギなどの生野菜をみじん切りにして加え、搾りたてのココナッツミルクで和えたもの。家庭ごとに味は異なり、ほどよく唐辛子を効かせてあるとよりおいしい。これが冷蔵庫でキンキンに冷やされていると、暑い夏場はなお食欲をそそる一品となる。

トンガ料理に欠かせないココナッツだが、時にはラグビーのボールに早変わりする。ラグビー大国であるトンガの子どもたちは、日本の子どもたちがキャッチボールをする感覚でラグビーのパスをしている。でもラグビーボールがどこにでもあるかというとそうではない。そんなときに活躍するのが、そう、ココナッツ。そういわれると、形も重さもちょうどラグビーボールに見えてくる。ものがなくても、身近にあるものを最大限に生かして楽しむのがトンガ人。トンガのココナッツは、まだまだ可能性を秘めていそうだ。





TTIでのオーケストラの授業。プロを目指す若者たちが集い、日々研鑽を積む。



尾上さんは週2回、市民向けのコミュニティクラスでも教えている。TTIの学生も指導にあたり経験を積んでいる。

師がすでに弦楽器の普及に取り組 の伴奏にももっと弦楽器を取り入 の伴奏にももっと弦楽器を取り入 の伴奏にももっと弦楽器を取り入 の伴奏にももっと弦楽器を取り入 の伴奏にももっと弦楽器を取り入 す。学校側の音楽教育への熱意も す。学校側の音楽教育への熱意も あります。そうした周囲の方々の 力を得て、今の私の活動もあると 思っています。音楽を楽しむ術を 思っているトンガの人たちの姿勢 知っているトンガの人たちの姿勢 から学び、トンガの伝統的な音楽 から学び、トンガの合義



昨年行ったコンサートで一緒に演奏をする尾上さん(左)。

にしたため、本番では想像以上のにしたため、本番では想像以上のなっと大げさですが、トンガ音楽を上に新たな1ページを開けた。強感で臨み、とても好評でした。張感で臨み、とても好評でした。表したがある。とてもられるよう聴衆は招待客だけにしたため、本番では想像以上のはしたため、本番では想像以上のにしたため、本番では想像以上のにしたため、本番では想像以上のにしたため、本番では想像以上のないとと大げさですが、トンガ音楽史上に新たな1ページを開けたのではないかと思います。

JICA海外協力隊 がゆく vol. 6

今回の海外協力隊員は、 南太平洋の島国トンガで、 音楽を学ぶ学生たちを 指導しています。

®トンガ 尾上香織

おのうえ・かおり 31歳 出身地:熊本県 職種:音楽 任期:2017年7月~2019年7月

トンガの人たちに 弦楽器をもっと

習を積み重ねることで得られる達

こつこつ

音を合わせる楽しさを学

長期間練習してみんなで音

音楽か生社の一部になっている ・対 教徒で、いつも教会で賛美歌を合 ・対 その伴奏で使われる金管楽器の演 その伴奏で使われる金管楽器の演 をも、みんな達者です。ギターや ウクレレもお手のもので、学校で ウクレレもお手のもので、学校で で使用される弦楽器はあまり身近 ではありません。ヴァイオリンは 指導

ファにあるトゥポウ高等専門学校と対で、私が取り組んでいるのがンガで、私が取り組んでいるのがいる人は少ないのです。そんなト

首都:ヌクアロフ:

23 mundi May 2019 May 2019 May 2019